

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果 京都市立安井小学校

4月19日に行われた、6年生における「全国学力・学習状況調査」の結果から、学習の様子をお伝えします。この調査は、国語科と算数科の2教科のテストとともに家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されました。結果を受けて、生活習慣と学力との関係も踏まえながらお伝えしたいと思います。

国語科より

国語A（主として知識）では、どの領域もよくできており、基礎基本の力が定着しています。日頃の学習の積み重ねが成果として表れています。特に、話し合いにおける中心をとらえることがよくできていました。また、国語B（主として応用）では、目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えることがよくできていました。さらに、生活の中でも、自分の考えを伝えるとともに、話し合ったことをまとめたり、書いたりできるように活用していく力をつけていきたいと考えています。

また、全国的に手紙の構成についての問題の正答率が低くなっています。6年生だけでなく、学年ごとに学んだことを定着できるように学校全体での取組を続けていきます。

算数科より

算数A（主として知識）では、資料を活用して数量関係をとらえる問題がよくできていました。また、算数B（主として活用）でも、計算や数量関係をとらえる領域など多くの問題で全国平均を上回っていました。示された条件や考えをもとに、立式したり、図に表したりする問題の正答率が高く、自分の考えを整理する力が身についていると言えます。しかし、整数で考えると理解できる問題でも、数字が小数や分数になると、意味を取り違えたり、割合がとらえられなかつたりするという課題が見られました。

小数や分数などの計算問題に取り組んだり、割合の問題を図式化したりすることで、定着を図ることができればと考えています。

児童質問紙調査から

学校の宿題に関しては、概ねしているのですが、「家で、自分で計画を立て勉強している」という項目では、全国・全市を下回っています。また、テレビやDVDなどを見る時間やゲームやインターネットなどをする時間が多くなっています。決められたことには真面目に取り組むものの自分から進んで取り組むことに対しては十分ではありません。自分で計画を立て時間を有効に使うことができるようになっていきたいと思います。中学校に向けて今後求められる大切な力です。

学校生活の中では、「みんなで協力してやり遂げ、うれしかったこと」という項目では、全国・全市を上回り、自分たちで行動する力や達成感を味わうことができています。その経験を自信につなげ、力を伸ばしてほしいと思います。また、「地域の行事に参加している」という項目でも、多くの子どもたちが参加しており、地域の中で支えられていることが分かります。周りの人たちに感謝の気持ちをもち、自分を大切にしてほしいと思います。

その後の成果と課題

委員会などで、6年生は自分たちで計画し進める経験をしています。また、運動会や学芸会などの行事では、学校をリードし、他学年の手本となっています。夏休み明けのジョイントプログラムの結果からも、国語科を中心に基礎基本の力も定着してきていると考えられます。さらに基礎基本の定着を図る学習の充実、自分の考えを伝える方法を学ぶ学習、読書の推進を行っていきます。